

地域包括ケアシステム

11月号

平成 29 年



QR コードを活用した見守りを始めました



福島市では、認知症の高齢者が警察等の関係機関で保護された際に、早期に身元が判明できるように「QR コードシール」を交付しています。



事業の流れについて

様子が気になる方をみかけたら...

まずは、「こんにちは どうされましたか?」と優しく声をかけてみましょう。

QR コードを読み取る

高齢者の衣服などに QR コードシールを着けている時は、スマートフォンなどの携帯端末で読み取ってください。



コールセンターに連絡

携帯端末の画面に表示されるコールセンターに連絡し、情報を提供することで高齢者の身元が判明します。

コールセンターが

支援者へ連絡

事前に登録いただいている支援者へ連絡されます。

発見者が

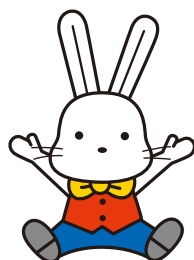
警察等へ連絡

高齢者の保護を依頼します。

無事、自宅に戻りました!

保 護

自 宅

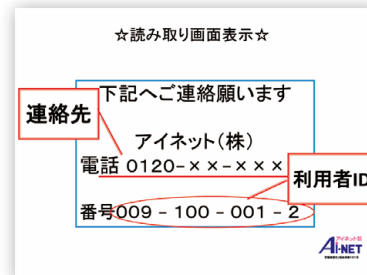


～ QR コードを読み取ってみよう～



※スマートフォンで QR コードを読み取るためには、別途読み取りのアプリケーション等が必要です。

読み取ると



連絡先へ電話し、利用者 ID を伝えます。コールセンターより事前登録された支援者へ連絡します。24 時間 365 日対応します。

利用料金について **無料**

QR コード (シールタイプのもの) を交付します。

※ただし、QR コードを追加で希望する場合は、利用者負担となります。

利用できる方

「認知症高齢者のうち市内に住所を有する方」を介護している親族や支援者の方が対象となります。

利用の手続きについて

福島市長寿福祉課地域包括ケア推進室、または担当のケアマネジャーかお近くの地域包括支援センターにご相談ください。申請受付後、交付までに 2 週間程度かかります。